

目 次

西洋近代美術の日本における受容に関する研究（最終報告） ——明治期から大正初期までの雑誌文献を中心に 富田 章（東京ステーションギャラリー 館長） 西田有紀（公益財団法人吉野石膏美術振興財団 司書）	3
シャルダンの制作法について ——絵画的変奏試論 大野芳材（美術史家）	11
近代日本美術家による西洋絵画理論の研究 江川佳秀（徳島県立近代美術館 副館長）	33
日本におけるパブロ・ピカソ受容研究 ——1911年から1951年頃まで 孝岡睦子（大原美術館 学芸員）	45
カミーユ・コロー作《浅瀬を渡る山羊の番人、イタリアの思い出》のモチーフについて 宮崎 匠（武蔵野美術大学 非常勤講師）	63
ジャン＝フランソワ・ミレーの油彩画における《群れを連れ帰る羊飼ひ》の位置づけについて 佐藤菜々子（公益財団法人吉野石膏美術振興財団 学芸員）	87